



働く女性の2021年行動白書

2021.11

eBay Japan G.K.

コロナ禍2年目となる2021年。
物質的、精神的な変化を感じている人は多いと思われます。
特に仕事やファッションなど
様々な事柄への興味関心が強い20~30代の働く女性たちが
どのように自分自身と向き合い、行動してきたのかを、
消費の観点から明らかにしていきます。

「働く女性の2021 年上半期振り返り調査」

調査期間：2021年5月6日（木）～5月10日（月）
対象：全国の、20代～30代の会社員女性500名
調査方法：インターネット調査
調査会社：株式会社ネオマーケティング

「コロナ禍2年目の働く女性の実態調査」

調査期間：2021年10月7日（木）～10月11日（月）
対象：全国の、20代～30代の会社員女性500名
調査方法：インターネット調査
調査会社：株式会社ネオマーケティング

「働く女性の秋冬ファッションに関する調査」

調査期間：2021年8月2日（月）～8月6日（金）
対象：全国の、20代～30代の会社員女性500名
調査方法：インターネット調査
調査会社：株式会社ネオマーケティング

「新生活に関する調査」

調査期間：2021年2月8日（月）～2月12日（金）
対象：全国の、一人暮らしをしている20代～30代の女性
500名
調査方法：インターネット調査
調査会社：株式会社ネオマーケティング

第1章：消費とメンタル	05
第2章：消費と家計	11
第3章：消費とファッション	15
Appendix：消費と新生活	21
総括 ～2021年の消費行動を振り返る～	26

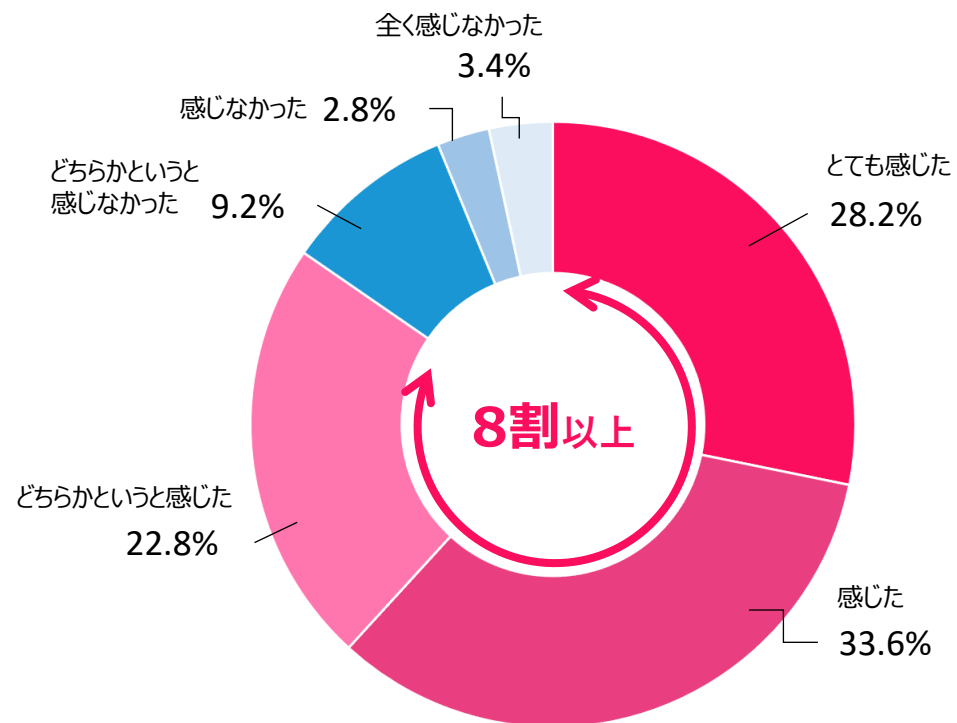
Chapter 1

第1章 消費とメンタル

2021年上半期を振り返る調査を実施。
コロナ禍でストレスを感じていたかや充実度、おうち時間を楽しむ工夫や自分へのご褒美について明らかとなりました。

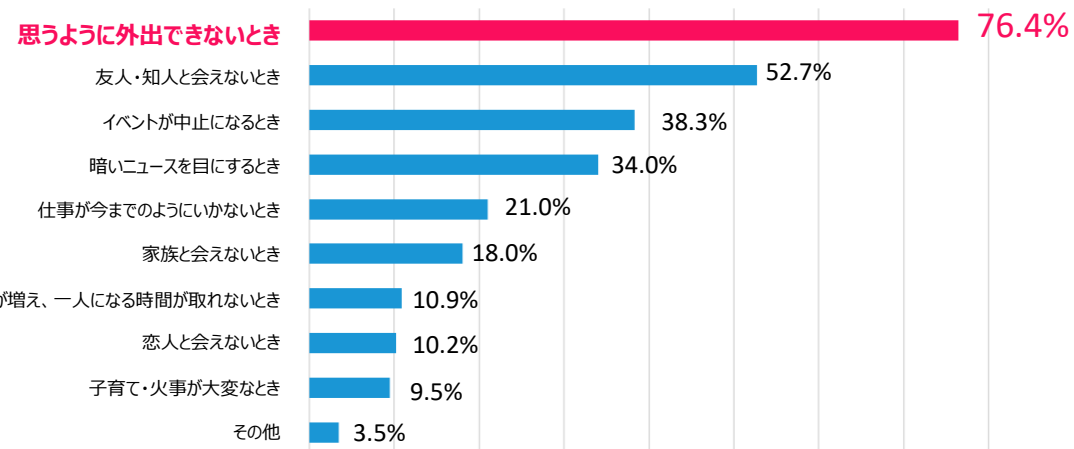
8割以上の女性がストレスを感じていた。 原因は「思うように外出できない」

2021年上半期、コロナ禍でストレスを感じましたか？



N = 500

どのようなときにストレスを感じましたか？ (コロナ禍でストレスを感じた方対象)



N = 423

一方、半数以上が「充実していた」と回答。 一番充実していたのは「趣味」2位は「仕事」

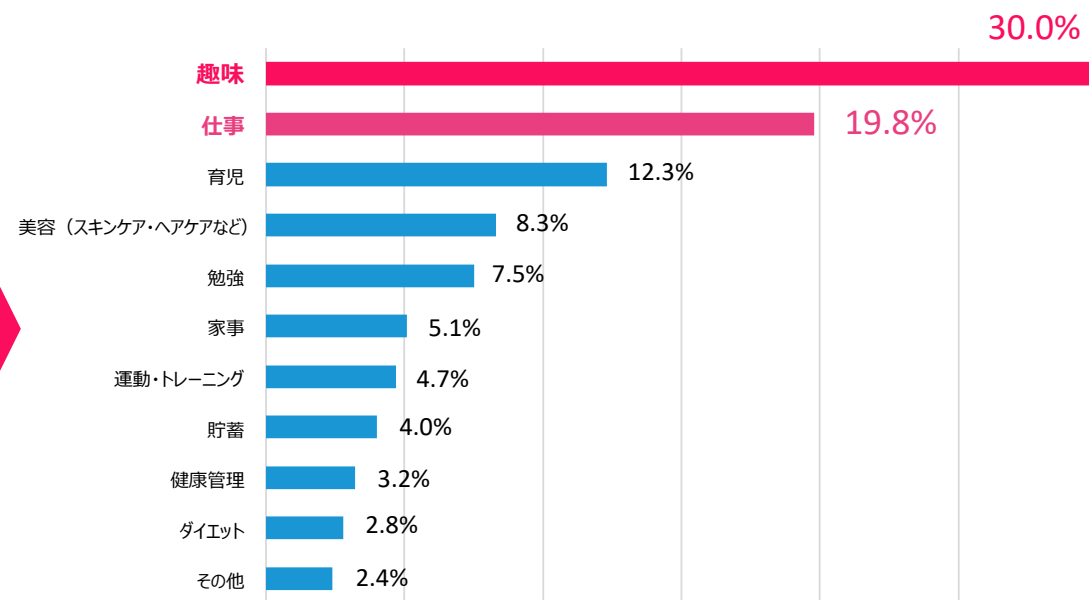
2021年上半期、「充実していた」と思いますか？

50.6%

充実していた



2021年上半期、一番「充実していた」と思うことは？

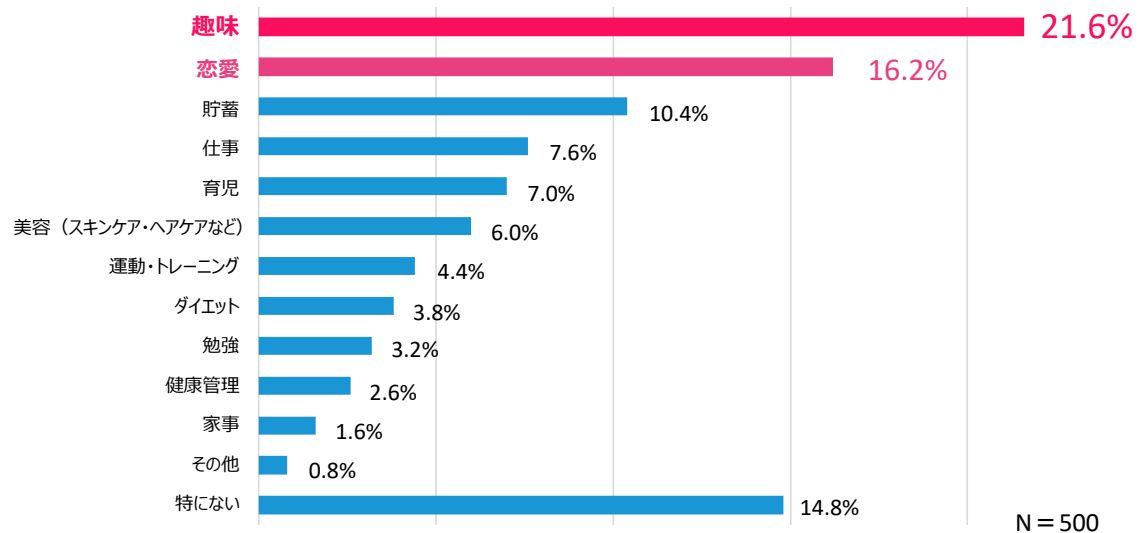


N = 253

2021年上半期、一番充実していたことは「趣味」(30.0%)でした。次いで、「仕事」(19.8%)、「育児」(12.3%)という結果に。テレワークの導入で働き方が変化したり、おうち時間が長くなったりしたことで、ワークライフバランスを見直しプライベートの趣味を充実させている人も多いようです。ストレスを感じやすい状況下でも、多くの女性が毎日を充実させて前向きに過ごしてきたことがうかがえます。

来年充実させたいこと「趣味」「恋愛」 働く女性の2022年の目標公開！来年こそやりたいイベントは「旅行」

来年一番充実させたいことは？



2022年の目標

- 趣味: ずっと中断していた旅行に行く (鳥取県・28歳) / ライブやフェスにたくさん行きたい (香川県・35歳)
- 恋愛・結婚: 結婚する (千葉県・28歳、愛知県・28歳 ほか)
- 貯蓄・金銭面: 億万長者 (東京都・31歳) / 4000万円貯めることです (大阪府・37歳)
- 仕事・勉強: 年収を増やす!!! (愛知県・29歳) / 語学を勉強する (東京都・28歳)

※出展: 「コロナ禍2年目の働く女性の実態調査」

来年こそやりたいイベント

	旅行	63.2%
	花火大会・お祭り	42.4%
	花見	32.2%
4位	忘年会・新年会	26.8%
5位	クリスマス	22.2%

充実させたいことは「趣味」(21.6%)、「恋愛」(16.2%)、「貯蓄」(10.4%)が多い結果となりました。具体的に来年どんな目標があるか聞いたところ、プライベート面から仕事面まで、女性たちの希望を感じる回答が寄せられました。また、来年こそやりたいイベントも調査。コロナ禍1年目と比べると規制が緩和された面も増えましたが、外出や大規模なイベントの開催は、基本的には自粛が求められる状況が続いています。調査の結果、1位は「旅行」、2位は「花火大会・お祭り」、3位は「花見」となりました。理由としては「リフレッシュしたい」、「友達とはしゃぎたい」に多くの回答が集まり、遠出してリフレッシュすることや、友人と集まって楽しむにぎやかなイベントを恋しく思っている人は多そうです。

約8割の女性が、おうち時間を工夫して楽しめるように心がけている。 ＼楽しみ方エピソード10選／

テレビ・ネット配信番組を観る

- ・子どもも大人も楽しめる。コロナ禍ということと子どもが小さく、なかなか映画館に行けないので、映画やドラマの世界観に入り込み、非現実世界を楽しめるのがいい！（滋賀県・31歳）
- ・昔のドラマなどを一気に見して、懐かしい気持ちになってリフレッシュできる（東京都・33歳）
- ・夜にお酒を飲みながらネット配信番組でドラマや映画を観ていると、コロナ禍であることを忘れられて、楽しい気分になれる（東京都・35歳）
- ・韓国ドラマをたくさん観ている。勉強にもなる（東京都・29歳）
- ・旅番組などを観ていると、旅行している気持ちになれて楽しい（福岡県・29歳）

ネットショッピングをする

- ・毎日落ち込むニュースばかりだが、買い物をする少しは気分が晴れる（大阪府・35歳）
- ・ネットショッピングで自分にご褒美的な商品を購入し、それを使うことで心が豊かになれる気がする（東京都・35歳）

自炊をする

- ・子どもと一緒に料理やお菓子を作ることで、楽しく美味しく食べることができる（富山県・32歳）
- ・自炊をして料理のレパートリーが増える喜びを感じられる（神奈川県・28歳）

掃除をする

- ・掃除をしてすっきりした気持ちになれる（神奈川県・39歳）

約5人に1人が「自分へのご褒美」を買う予定。
平均予算は30,870 円と高め。4 割以上「洋服」が欲しい。

2021年上半期の終わりに、
自分にご褒美を買う予定はありますか？

22.6%

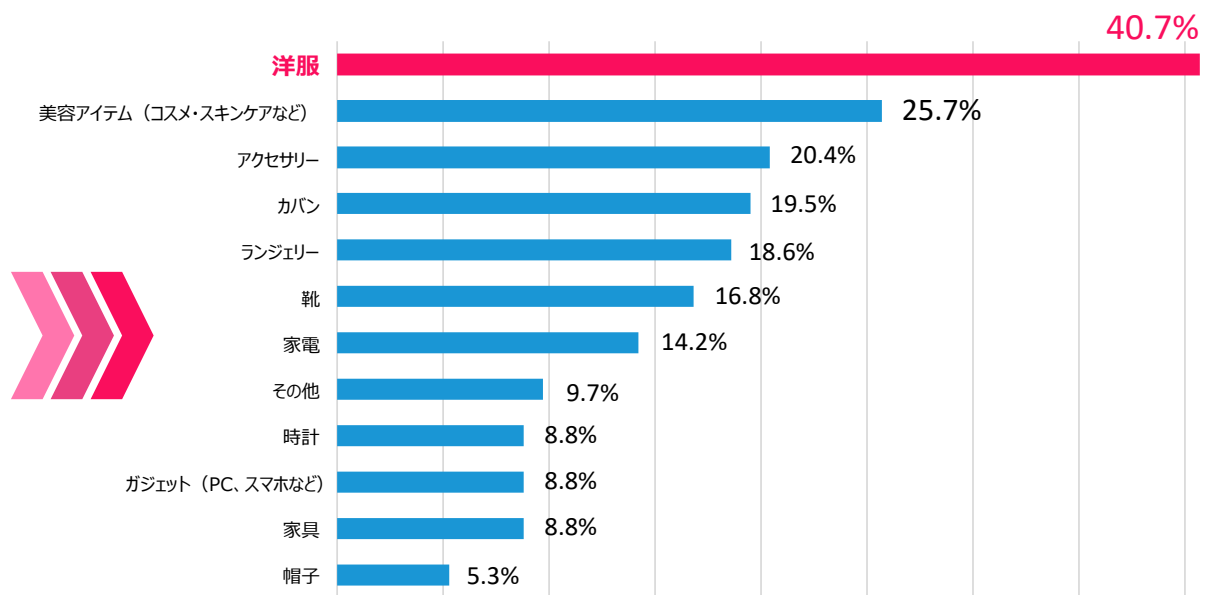
5人に1人「ある」

ご褒美の平均予算

30,870円

(2021年上半期の終わりに、自分にご褒美を買う予定の人
N=113)

具体的に何を買う予定ですか？
(自分にご褒美を買う予定がある方対象)



N = 113

自分にご褒美を買う予定がある人に、具体的に何を買う予定か聞いたところ、1位「洋服」(40.7%)、2位「美容アイテム (コスメ・スキンケアなど)」(25.7%)、3位「アクセサリー」(20.4%)という結果に。衣類や化粧品を買いたいと考えている人が多いことが分かりました。

第2章 消費と家計

コロナ禍2年目の働く女性のお金について調査を実施。
収入や貯蓄、お金への意識の変化がうかがえました。

3割以上の女性がコロナ禍2年目で収入変化。 5人に1人が収入減。

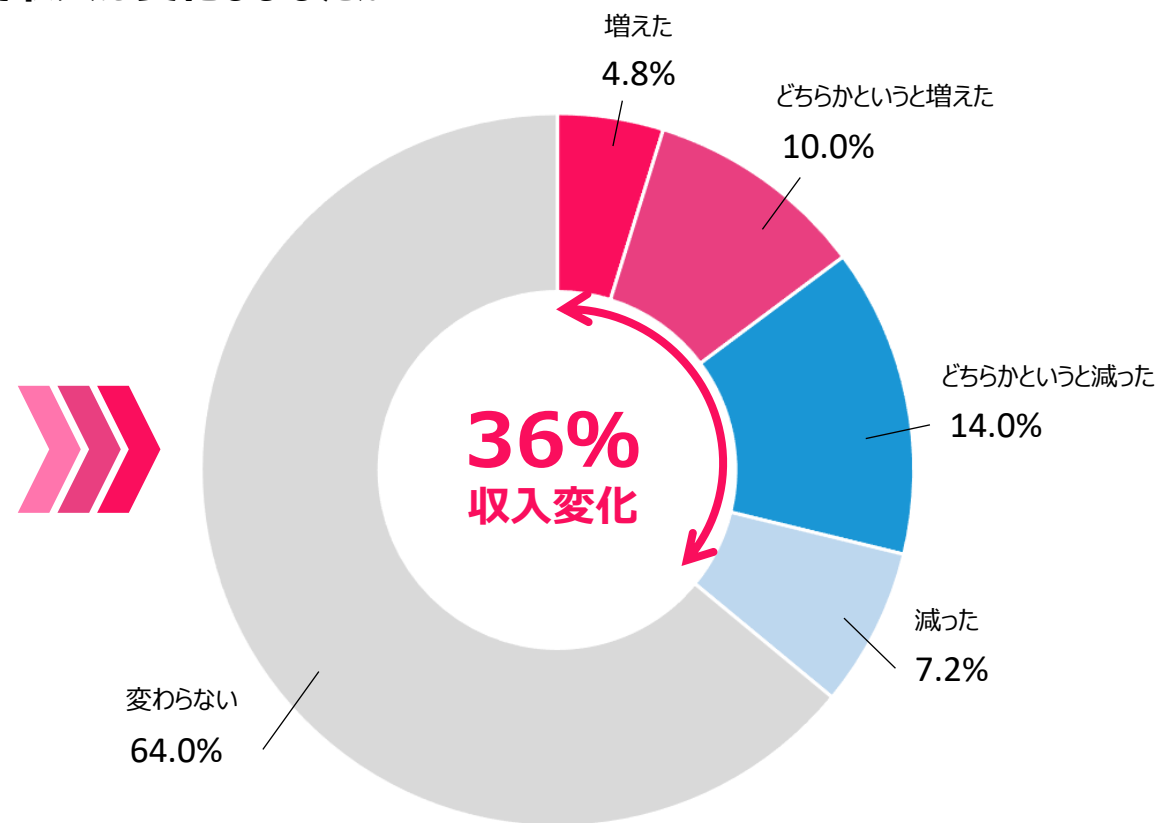
コロナ禍2年目となる2021年、
コロナ禍1年目と比べて収入は変化しましたか？

36.0%

YES

— 増えた (14.8%)

— 減った (21.2%)



3割が貯蓄増加。一方、4割以上の女性は“コロナ浪費”。 貯蓄額は「600万円以上」ある人が最多（20.6%）。

コロナ禍2年目となる2021年、
貯蓄は増えましたか？

30.2%

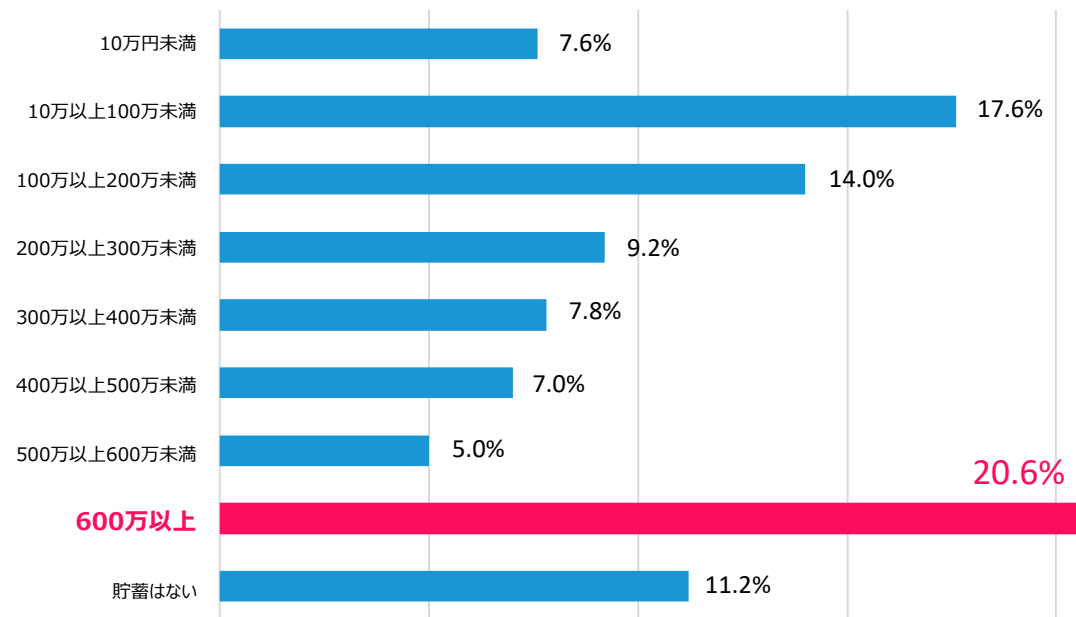
増えた

コロナ禍で浪費をしてしまった経験はありますか？

42.0%

“コロナ浪費”経験有

現在の貯蓄額

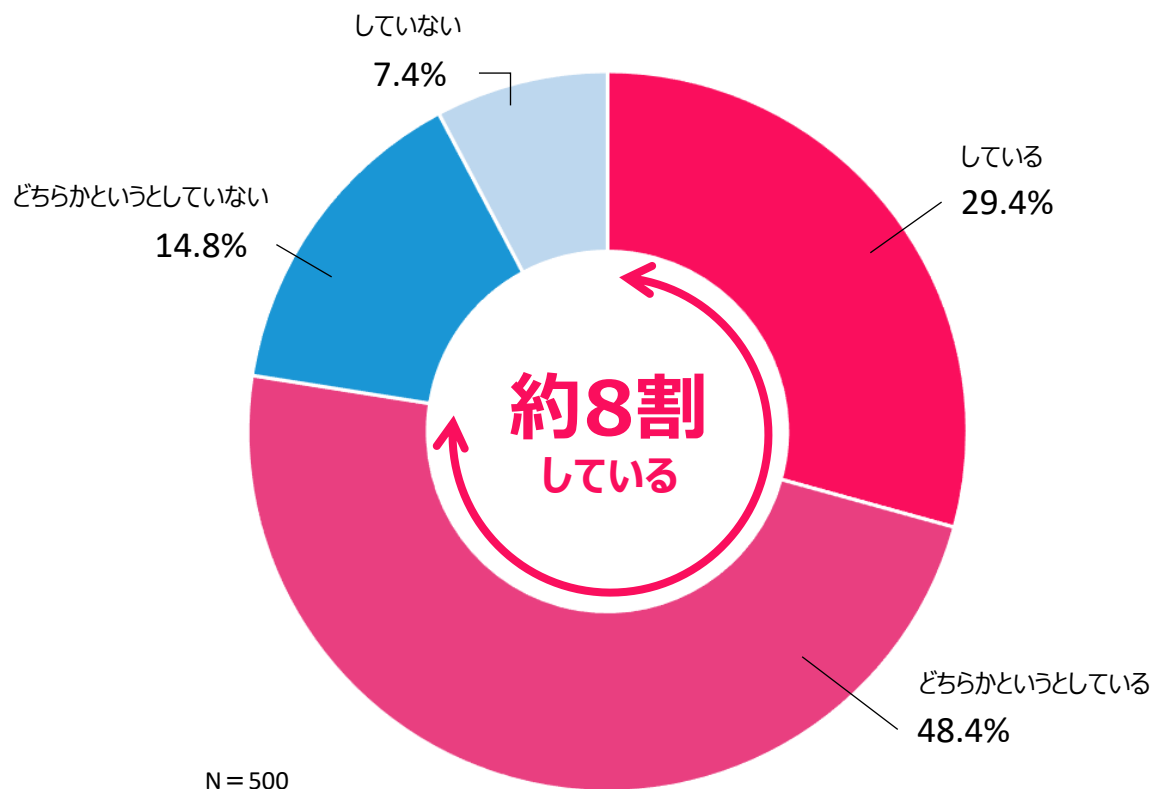


N = 500

現在の貯蓄額は、「600万円以上」（20.6%）が最多に。一方、次に多い回答は「10万円以上100万円未満」（17.6%）、さらに「貯蓄はない（11.2%）」と回答した人も一定数おり、貯蓄額はばらける結果に。人によって大きく差がありました。

約8割の女性が節約していると回答。 みんなの節約エピソード5選

現在節約していますか？



みんなの節約エピソード

- ・使わない電気は消す（東京都・25歳）
- ・食材は夕方安くなってから買い物に行って買うようにしている。クーポンを利用するようにしている（三重県・31歳）
- ・ネットバンキングなどを利用して手数料がかからないよう気を配っている（兵庫県・35歳）
- ・できるだけポイントが貯まる日に買い物をする（長野県・32歳）
- ・キャッシュレスにしてポイントを貯める（東京都・30歳）

第3章 消費とファッション

働く女性の秋冬ファッションに関する調査を実施。

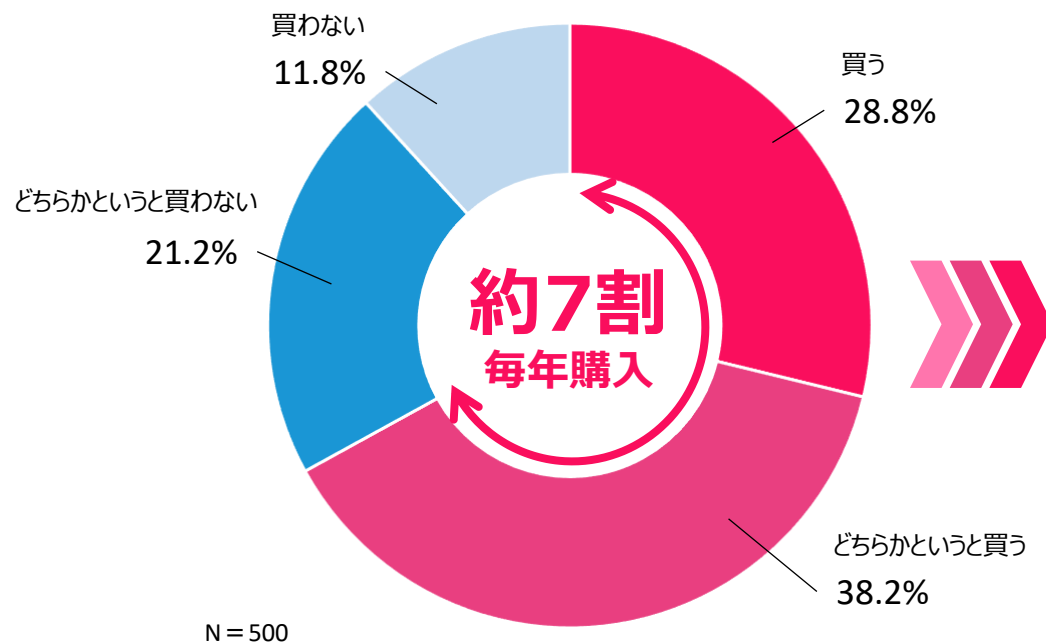
秋冬の洋服を選ぶポイントとして、価格を重視している女性が多いことが判明。

秋冬の洋服を購入したいと考えている女性が多く、ファッションに意欲的な女性が多いことがうかがえる調査となりました。

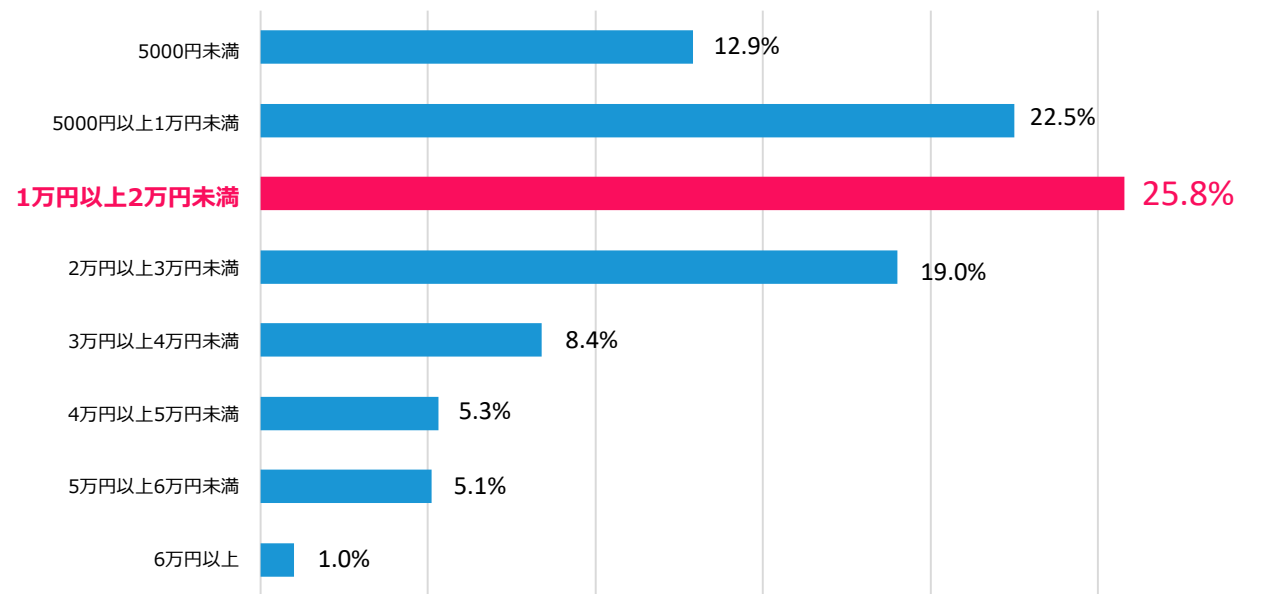
韓国トレンドなど、新しいものに関心を持っている女性が多いことも明らかとなりました。

約7割が秋冬用の洋服を毎年購入。 予算は「1万円以上2万円未満」と回答した人が最多。

毎年、秋冬用の洋服を新しく買いますか？



今年の秋冬、洋服にかかる予算は？



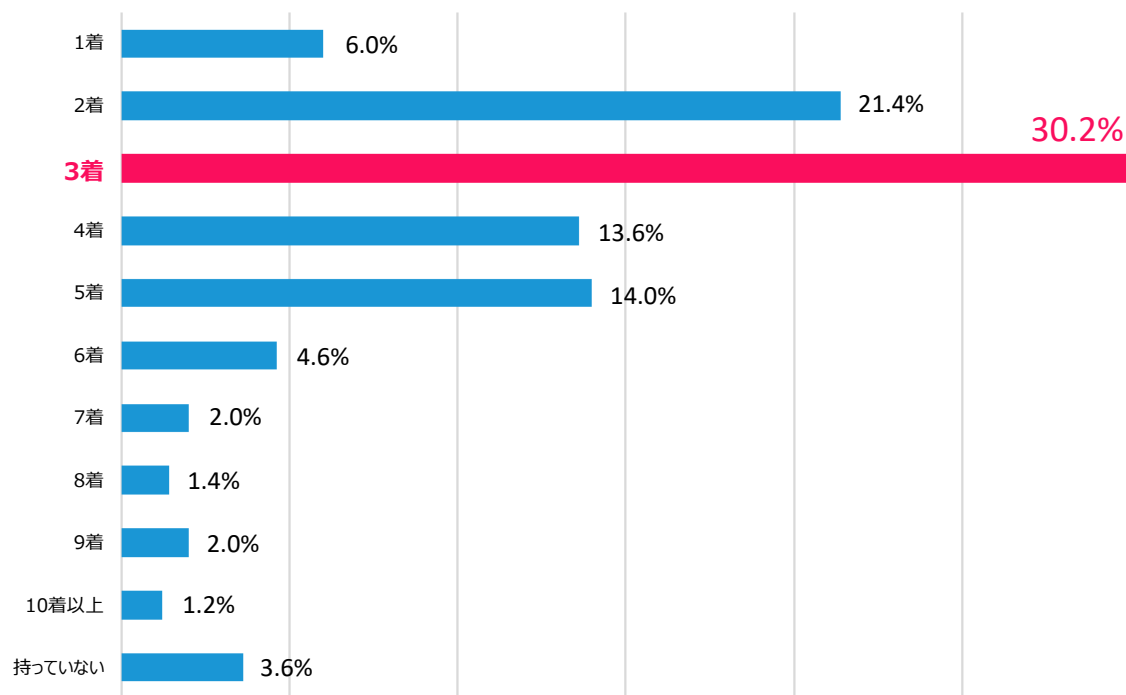
N = 395

今年新しく秋冬用の服を想买いたい人は約8割

今年新しく買いたい秋冬アイテムについても調査したところ、最も多くの回答を集めたのが「トップス」(66.2%)でした。次いで、「ボトムス」(47.0%)、「ワンピース」(37.8%)という結果になりました。「買いたいものはない、買わない」(21.0%)と回答した人を除くと今年新しく秋冬用の服を想买いたい人は約8割いることが分かりました。ファッションへ意欲的な女性が多いことが見て取れます。

秋冬の OUTER「3着」持っている人が多い。 秋冬ファッションの重視ポイント1位「価格」、2位「デザイン」、3位「色」。

秋冬の OUTERは何着持っていますか？



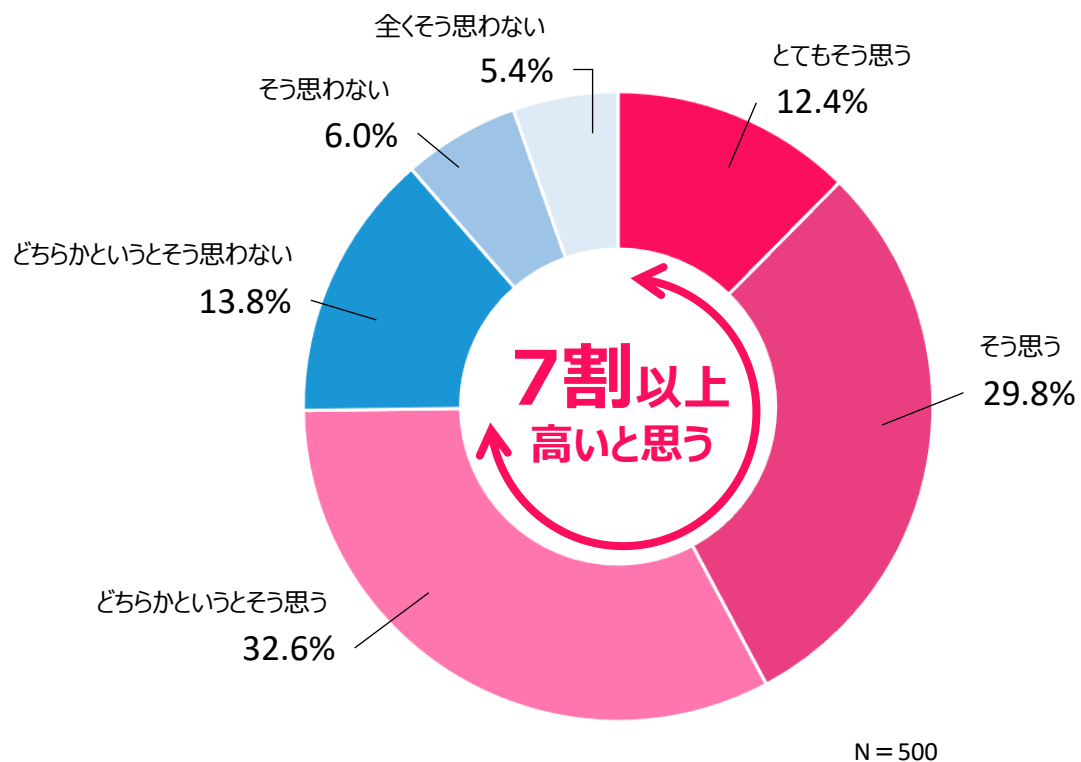
N = 500

ファッションの重視ポイント

	価格	61.8%
	デザイン	59.4%
	色	53.8%
4位	素材	52.0%
5位	防寒	51.2%

7割以上、「秋冬用の洋服は単価が高い」と回答。高さ故に、購入を諦めた経験も。6割以上が年始年末のセールまで買い物を我慢。

秋冬用の洋服は単価が高いと感じますか？



高さ故に購入を諦めた経験

75.4%

ある

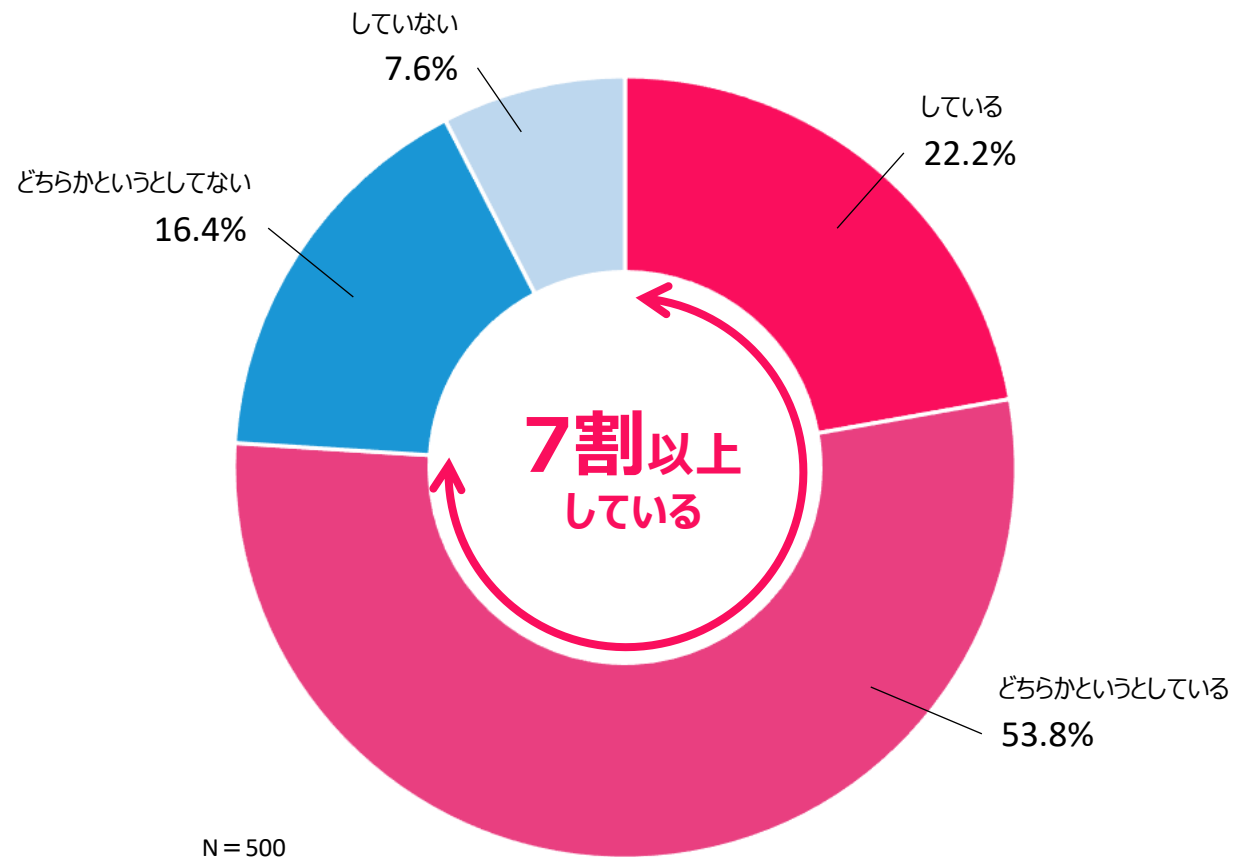
年末年始のセールまで買い物を我慢したことはありますか？

62.0%

ある

7割以上が「正直、春と秋の洋服を兼用」。

正直、春と秋の服は兼用してますか？



約半数、コロナ禍でネットショッピングを使う頻度が増加。3人に1人が、ファッションで韓国のトレンドを意識。購入意欲・予算が高い傾向に。

コロナ禍1年目と比べ、コロナ禍2年目はネットショッピングを使う頻度は増えましたか？

48.6%

増えた

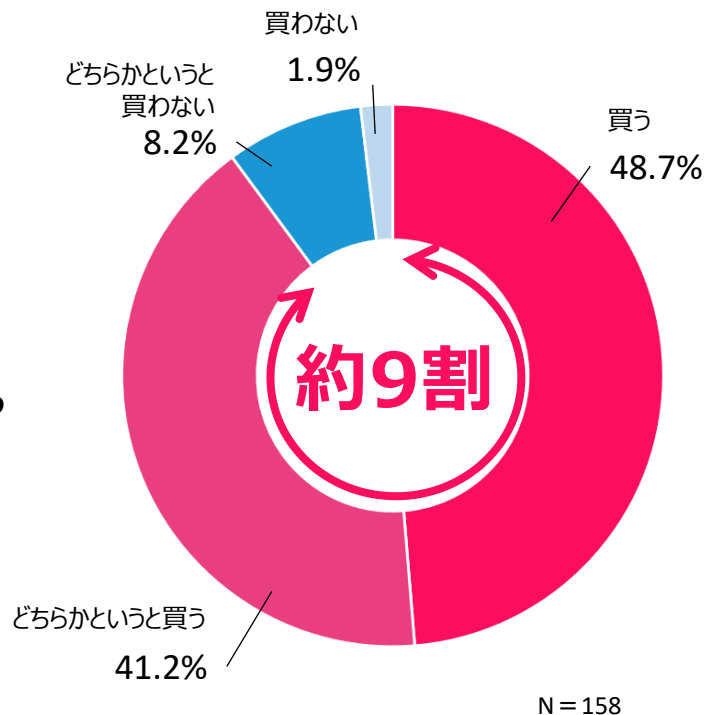
※出展：「コロナ禍2年目の働く女性の実態調査」

ファッションにおいて韓国トレンドを意識したことがありますか？

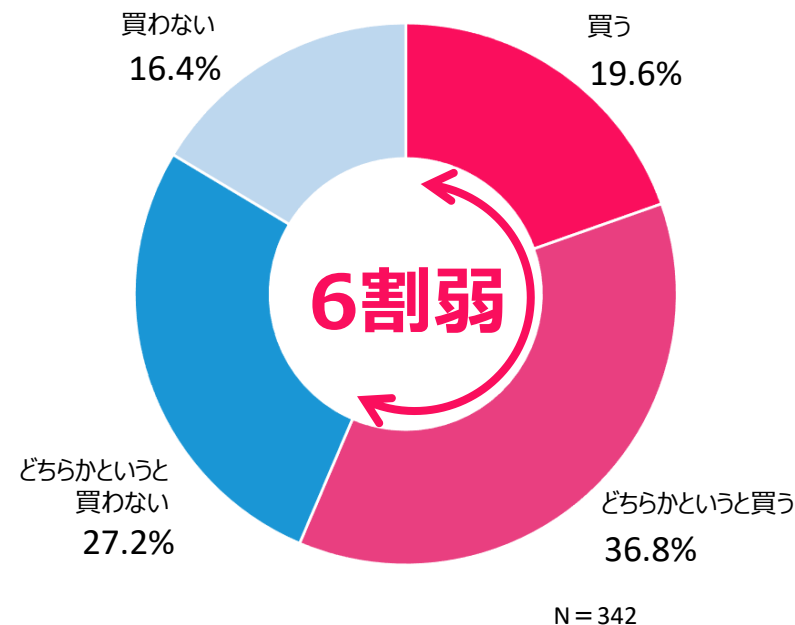
31.6%

3人に1人 意識している

毎年、秋冬用の洋服を新しく買いますか？
(韓国トレンドを意識したことがある人)



毎年、秋冬用の洋服を新しく買いますか？
(韓国トレンドを意識したことがない人)



コロナ禍で外出自粛が増え、ネットショッピングの利用頻度が増えている人が多くなっています。その中で、韓国トレンドに関心を持っている女性が多いことも判明。ファッションにおいては、韓国トレンドを意識しているの方が、購入意欲や予算が高い傾向にあることが分かりました。

Appendix

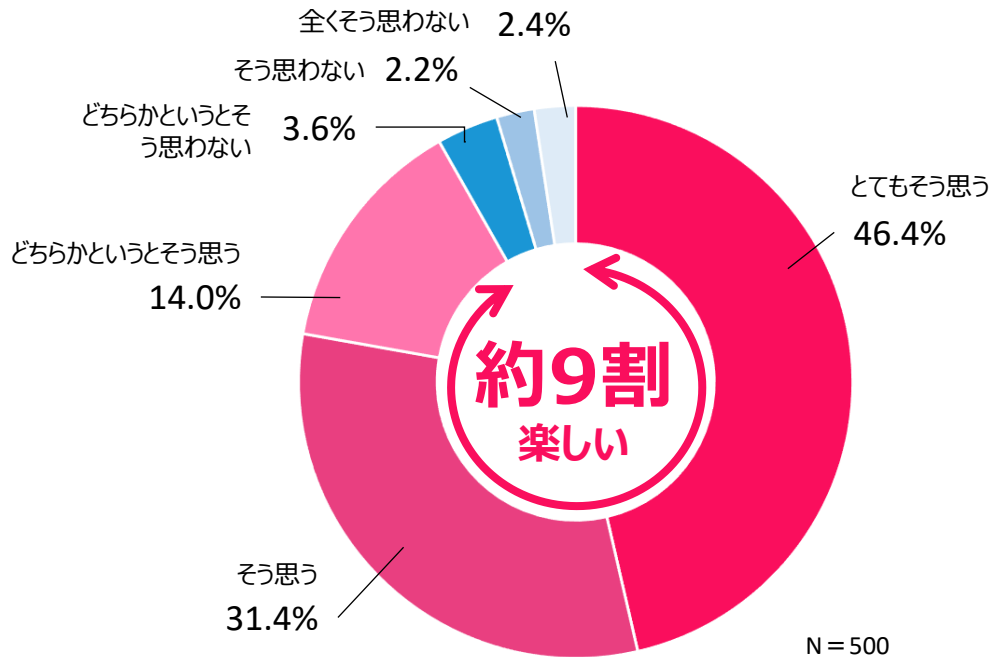
消費と新生活

一人暮らしをしている20～30代女性に新生活に関する調査を実施。

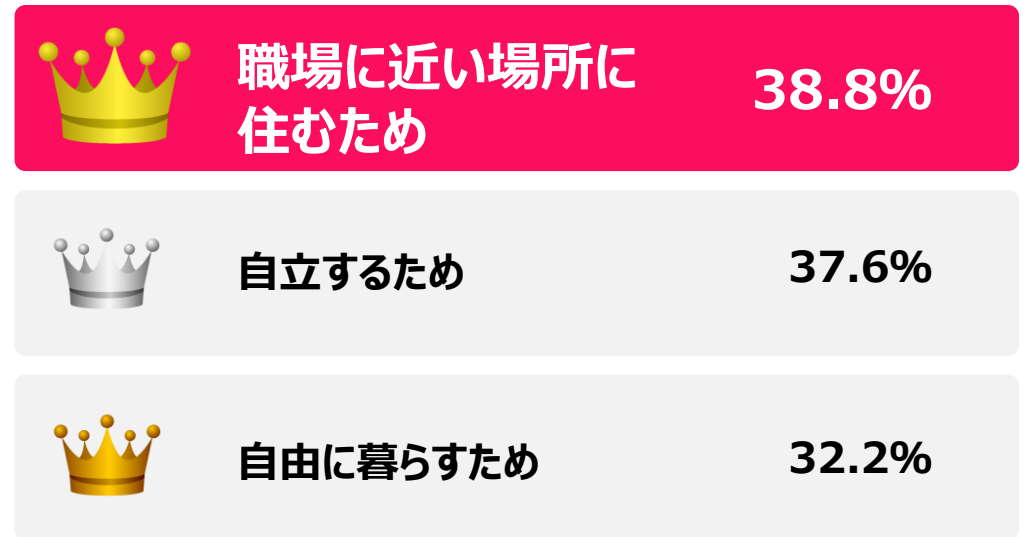
一人暮らしの理由、初期費用、一人暮らしで大変なことや、家具についてなど様々な実態が判明しました。

女性が一人暮らし始めるきっかけは「職場に近い場所に住むため」。 9割以上が一人暮らしは「楽しい」

一人暮らしは楽しいですか？



一人暮らしのきっかけ

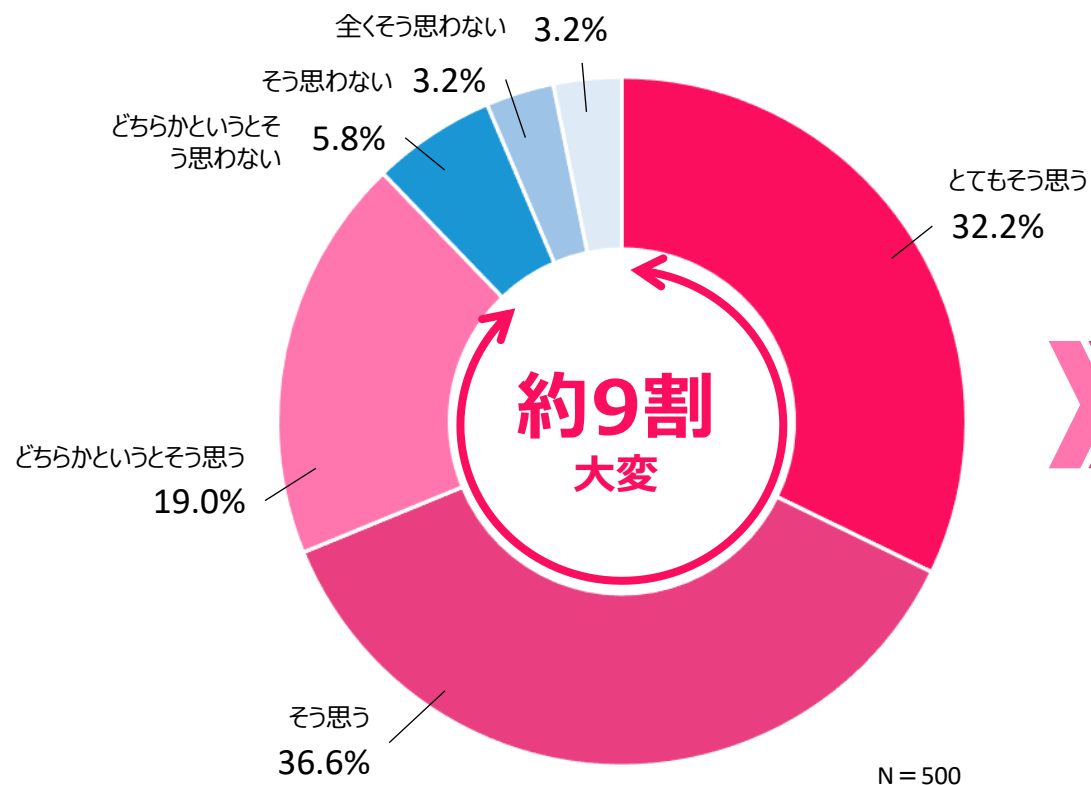


一人暮らしが楽しいと思う理由




- ・自分の時間で好きなように生活できるから。家具も好きなものを選択できるから（東京都・38歳）
- ・一人で気楽に過ごせるから。自宅のインテリアなどを自由にできるし、要らないものは自分の判断だけで捨てることができるから（東京都・39歳）
- ・誰にも気を遣わずにいられるし、好きなインテリアを置けるから。自分だけのお城という感じで良い。家事も、自分だけのものなら苦にならずにやれるし、マイペースに過ごせる（神奈川県・29歳）
- ・自分の好きな時間に、好きな順序で好きなことができるから（静岡県・21歳）

約9割、一人暮らしの準備は大変。「家具、家電、生活雑貨を買い揃えること（65.6%）」。初期費用平均は約28万円。

一人暮らしはの準備は大変でしたか？



一人暮らしの準備で大変だったこと (一人暮らしの準備が大変だった方対象)

	家具、家電、生活雑貨を買い揃えること	65.6%
	引っ越しの手続きをすること	63.8%
	物件を探すこと	59.2%
4位	初期費用を貯めること	48.7%

N = 439

初期費用平均

約28万6737円

最もこだわった家具1位「ベッド」。家電・家具について、約6割が「機能性」を重視。買っておいてよかったもの1位「電子レンジ」




最もこだわって買った家具

 ベッド	24.2%
 テレビ	8.4%
 ソファ	6.8%

こだわった点や理由

 機能性	64.4%
 デザイン・色味	52.0%
 サイズ	42.4%

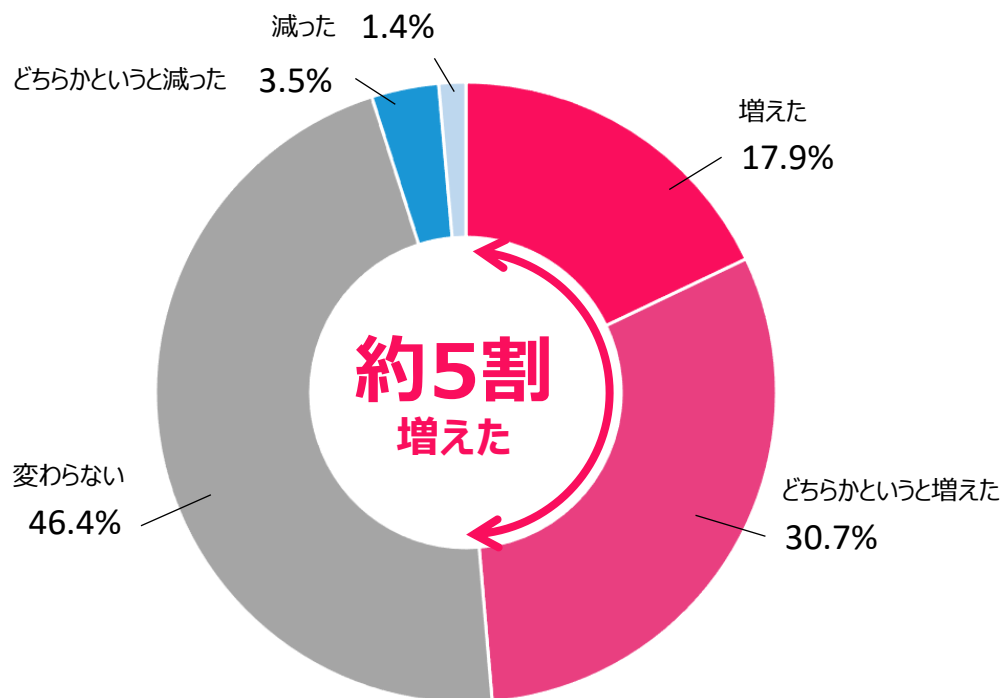
買っておいてよかったもの

 電子レンジ	24.4%
 ベッド	24.0%
 洗濯機	19.4%
4位 テレビ	18.8%
5位 電子ケトル	12.0%

N = 500

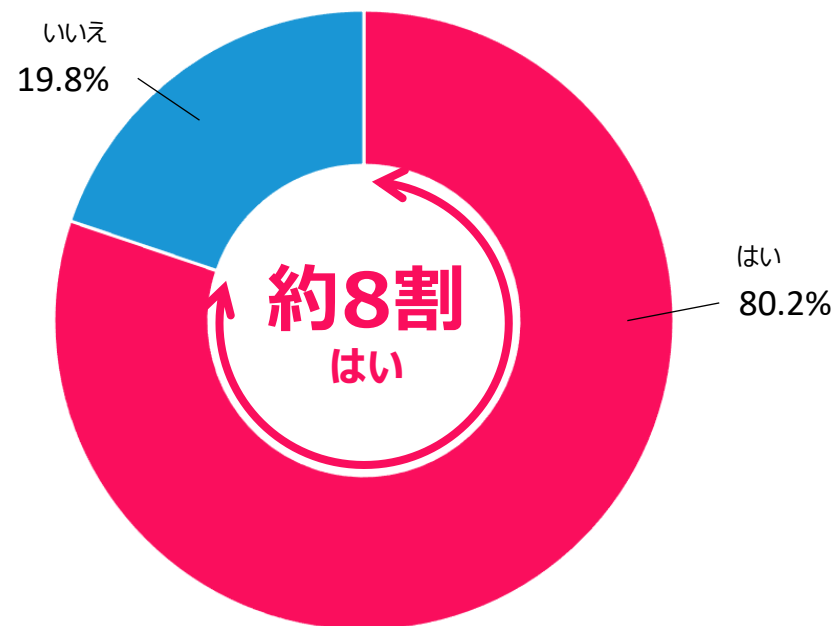
約半数、コロナ禍でネットショッピング利用頻度増。より良い一人暮らしのために… 約8割が「一人暮らしの準備で、ネットショッピングを利用した方が良い」

コロナ禍1年前と比べて、コロナ禍2年目になってから
ネットショッピングを使う頻度は増えましたか？



出展：「コロナ禍2年目の働く女性の実態調査」

一人暮らしの準備において、ネットショッピングを
利用した方が良いと思いますか？



N = 500

「ネットショッピングを利用した方が良い」と考える理由については、「購入したものを帰る手間が省けるから」（88.0%）に最も多く回答が集まりました。次いで「手頃な価格で手に入りやすいから」（48.9%）、「複数の店舗を回る手間が省けるから」（39.7%）という回答が続きました。実際に商品を見られないという面はあるものの、多くのメリットを感じている人が多いことが判明しました。

総括 ～2021年の消費行動を振り返る～

第1章まとめ

- ・コロナ禍2年目もストレスを感じている女性は多数。
- ・一方で、前向きに過ごせるように工夫する姿勢が見られた。
- ・目標ややりたいイベントなど、希望を持って生活する人も多数。
 - ・消費にも意欲的な傾向が見られた。



Withコロナでメンタル面も自己管理がより求められる時代に。
メンタル面でポジティブになるための消費がより活発になる可能性も。

第2章まとめ

- ・コロナ禍で収入やキャリア観が変化した女性が多数。
 - ・収入の減少や課題を感じる女性も見られる。
- ・コロナ浪費をしてしまうこともある中、節約する女性も多数。



ワークスタイルやキャリア観の変化により、
自分の仕事や経済と向き合う女性がより増える。

第3章まとめ

- ・コロナ禍2年目はファッションに意欲的な女性が多い。
- ・一方価格を重視する声が多く、消費を抑えている傾向が見られる。
- ・ファッションにおいて、韓国トレンドに関心をもつ女性が多い。
購入意欲・予算が高い傾向に。



昨年は外出自粛でファッションの消費が停滞していると言われていたが、
今後はファッションへの意識が徐々に向上。
現実的な価格帯で楽しむ女性が増える。
新しいことに関心を持つ女性ほど、ファッションを楽しむ。

Appendixまとめ

- ・女性の9割以上が「一人暮らしは楽しい」。
- ・一方、一人暮らしを始める準備は大変。
初期費用が平均約28万円かかるという実態も。
- ・一人暮らし経験者の先輩たち
「一人暮らしの準備はネットショッピングを利用した方が良い」



コロナに関わらず女性は一人暮らしを楽しめている。
一人暮らしの準備は大変さが残るが、今後ネットショッピングを
上手く活用することで負荷が減る可能性がある。
徐々に一人暮らしの準備のハードルも下がり、準備の段階から
より快適な一人暮らしライフをスタートさせることができる。



働く女性の2021年行動白書

2021.11

eBay Japan G.K.